

(12) 教育学教育における授業モデルの検討

教育学教育FD/ICT活用研究委員会は、22年6月、9月、11月の3回開催し、学士力の実現に求められるICT活用の授業モデルの検討を行った。

教職課程にとどまらず、教育学の観点から社会に関与できる能力を身につけることを目指して、4年間の学びによる振り返り学習を取り入れた授業デザインを3例とりあげることとした。

一つは、学びの意義、教育の必要性を他者に伝えることができる能力を身につけるため、4年間を通じて学びの重要性などを振り返り学習できるように、グループ学習を通して継続的な学びの場をLMS上に設け、掲示板で異なる意見や考えを発表することを通して学びを進化させる授業モデルとした。

二つは、学習を効果的に進めるための教育指導の理論と技術の活用を身につけるため、模擬授業をもとに学生が相互評価を行い、授業改善のための振り返り学習を行い、その結果を社会に発表することで実践力を高める授業モデルとした。

三つは、地域社会、グローバリゼーション等の広い視点から、教育問題を理解し分析できる能力を身につけさせるために、海外の大学や日本の民族学校、国際学校等と連携してインターネットによるテレビ会議で実態を理解するとともに、帰国後に留学生が教育問題に対してどのように関与しているかなどの情報を用いて、振り返る授業モデルとした。